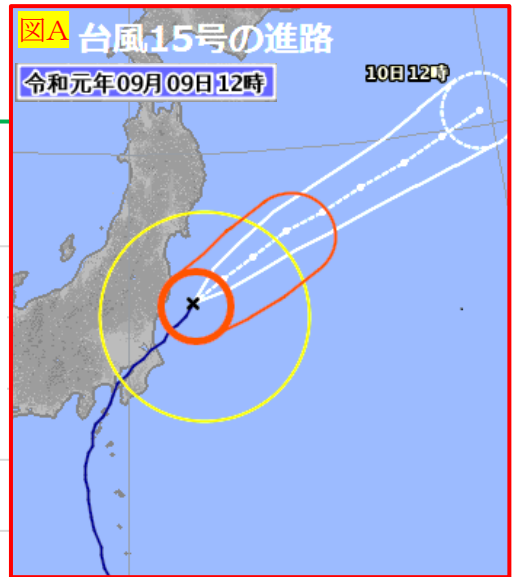


濁水かわら版

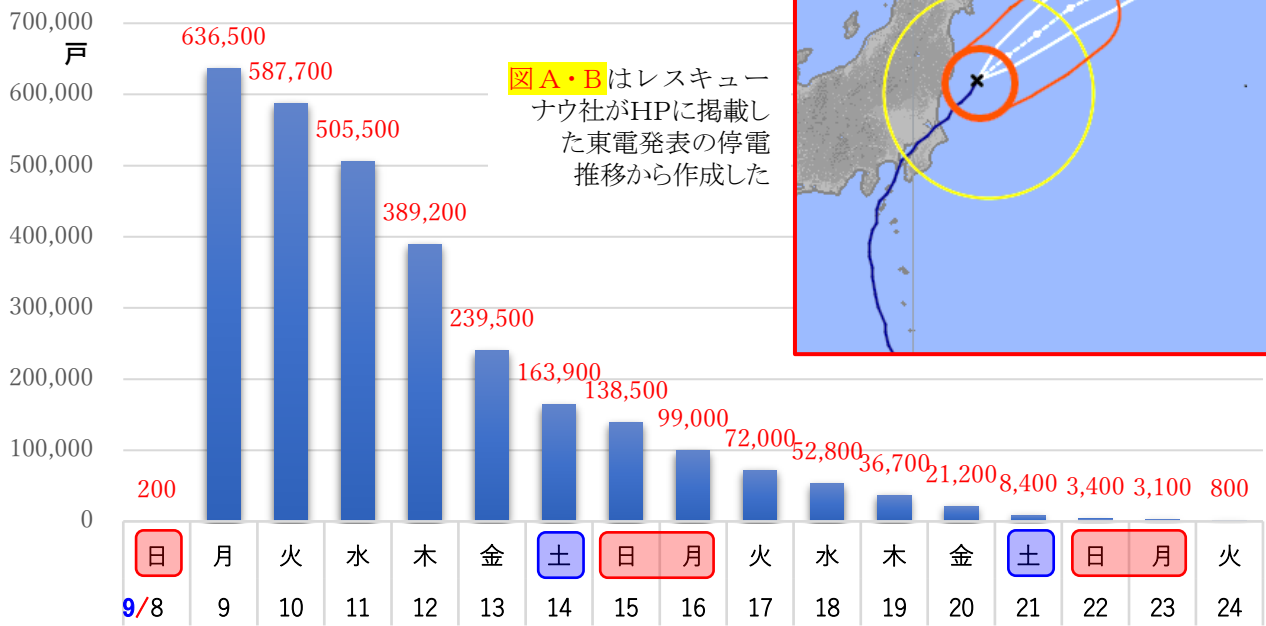
2019年11月1日

ボケ防止を兼ねて 中安 宏規

台風 15・19 号の置き手紙 天災は常時やって来る



図A 15号の千葉県停電戸数の推移

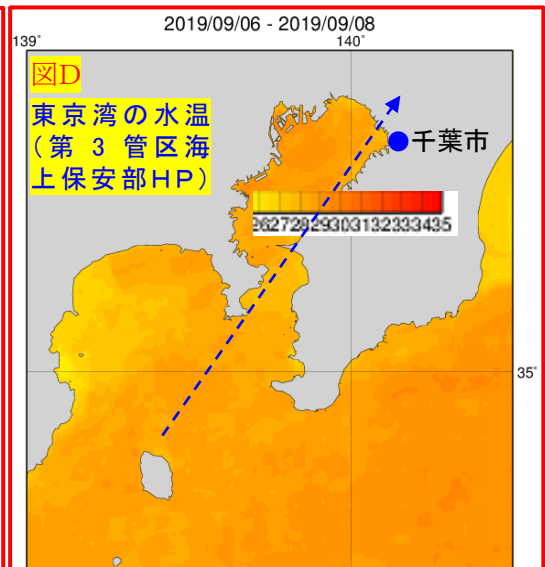
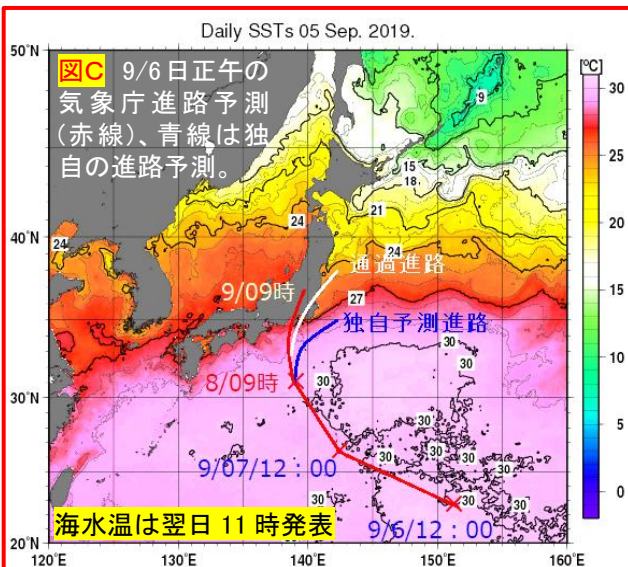


① 地球の温暖化で『天災は忘れたころ来る』でなく巨大台風や大地震が「何時でもやって来る」時代を迎えたようだ。昨年10/1日の台風24号も九州東の海水温28~29℃をこじ開け、紀伊水道から大阪湾を駆け抜けた。

図B 千葉県以外の県別停電戸数 (千葉県を含め9/09日 968,100戸停電)

月日	山梨	静岡	神奈川	埼玉	東京	群馬	栃木	茨城
9/08		10,100						
9/09	1000	44,600	158,000	8,700	12800	500	1,700	104,300
9/10		13,600	29,900	4,500			400	32,400
9/11		300	11,400	26,300	4,300	25,700	1,500	9,900
9/12				6,500			600	

② 図Cは今年の台風15号の軌跡だ。東京湾の水温が判らず青線の進路予測をした。通過後に図D東京湾の水温図を第3管区海上保安部HPを→



前頁から) 保安部の HPから見つけた。そこで水温図のカラースケールを切り張りすると、台風は海水温 28~29℃帯を漁るよう^{あき}に東京湾を駆け抜けたように見える。台風 15 号が東京の西側を通過したら東京の被害は想像を絶したと思われる。

③ 1958(昭和 33)/9/26 日、私が 18 歳の時、伊豆

半島に上陸し、東京の西側を通過した狩野川台風を思い出す。風雨が激しく寝られない一夜を過ごした。犠牲者 1200 人余、流失家屋≒1000 戸と伝わる。今回、東側の千葉は多くの家の屋根が飛ばされた。竜巻が駆け抜けたようにも思われるが、90 年代から雨戸のない強化ガラス窓だけの家屋が普及した。ピアノ線

関東大震災・昭和 三陸大津波 政府 空から被害を把握

を内蔵した強化ガラスも堅い飛来物で破れる。そこから強風が吹き込むと、屋根直撃の強風も加わり屋根が飛ばされた見方がある。さらに大停電と県や政府の被害把握が遅れたと報道された。台風襲来は天災だが、行政や東電の対応遅れを、私は人災と考える。

③ 右の図Eは、台風接近から約 20 日間の政府・千葉県・東電の対応を記した新聞記事だ。地震と違い台風接近は事前に判る。一読し、初動対応が遅れたと言えよう。森田健作知事は 9 日、県庁に 1 日出勤しなかった(10/3 日毎日新聞千葉版)。

④ 1923/9/1 日、関東大震災(震源地は小田原付近)が発生した。退役陸軍中將長岡外史(1858-1933 年)は「飛行界の回顧」に次のように記している。

「報知新聞号外は、神奈川県湘南海岸が津波で全滅と伝えた。陸軍省は右往左往だったが、当日飛行機を飛ばした。上空から津波が無かったことが確認できた…大磯の高台に避難した次男は飛行機が一周し東京方面へ帰るのを見て手を合わせて喜んだ」

⑤ 当時の飛行機は図Fのような複葉機が主力である。

る。長岡は日本飛行界の発展に寄与した。関東大震災では自宅を事務所に民間飛行機の協力を仰ぎ、東京市内にポストを設置。代々木練兵場から大阪への飛行郵便を開設した。陸軍から燃料を供給できないが、無断で取るのは取り締まれないとの諒解を得、多い日は 1000 通以上を運んだという。彼は新潟県高田の第 13 師団長の時、オーストリアのレルヒ少佐を招き、日本にスキー技術を導入した先見的な軍人で知られる。災害に弱い携帯電話が通じない状況で、内閣改造に熱心な安倍政権には長岡のような発想は生まれようもない。

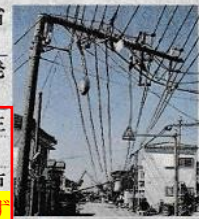
⑥ 長岡が他界した 1933(昭和 8)年、昭和三陸大津波が発生した。宮沢賢治も旅立った年でもある。3/3 日、岩手県沖を震源とする推定M8.1 の巨大地震の大津波が、次頁へ→

図E 15号をめぐる政府や各自治体などの主な動き

24日時点、朝日新聞調べ	
6日 11:15	台風上陸に備え、政府が関係省庁災害警戒会議を開催
8日 22:00	千葉県鴨川市で市民から停電発生との第一報
9日 1:30ころ	千葉県館山市内の広範囲で停電発生
5:00前	台風15号、千葉県に上陸
7:50	千葉県を中心に最大93万4900戸が停電 森田知事は1日出勤せず
10日 4:00	千葉県が最初の自衛隊派遣を要請(24日までに計14回)
9:15	千葉県が第1回災害対策本部会議(計6回)。森田健作知事が東電への早期復旧要請指示
14:30	政府が第1回関係省庁災害対策会議(計9回)
夕	東電「11日中の復旧を目指す」
11日	内閣改造・自民党役員人事
7:55	東電パワグリッド社長が「11日中の復旧の見通しが立っていない」と謝罪
17:30	森田知事が東電に苦言を呈し、早期復旧と正確な情報提供の要請指示
18:00	首相が記者会見で台風被害について言及
18:30	東電が「全面復旧は13日以降の見込み」と修正
12日	千葉県が自治体に初の県職員派遣。いすみ市へ2人
13日 8:30	経産省が第1回停電被害対策本部(計2回)
9:00すぎ	閣僚懇談会で首相が台風対応について指示(計3回)
17:30	国交省が第1回災害支援対策幹部連絡会議(計3回)
20:00	東電が「全面復旧は2週間(27日まで)かかる」と再修正
14日 19日	森田知事が南房総市など被災地を初視察 県がヘリの出動要請
24日 18:45	東電のウェブサイトで、千葉県内の停電情報の戸数が「ゼロ」に

注:赤字は筆者が加筆

朝日新聞9/29日朝刊2面



折れた電柱 千葉県館山市



記者会見する安倍首相 11日



被災地を視察する赤羽三嘉国交相 14日



安倍首相と面会後の森田健作知事 18日



人命第1で夜を徹し作業して欲しい 自衛隊員 20日



1923年開業の盛岡気象台上空を飛ぶ複葉機

前頁より) 同午前2時半ころ北海道・青森・岩手・宮城県の沿岸に押し寄せた。翌日の4日午後、開会中の帝国議会衆院本会議で内務大臣山本達夫が被害と合わせ次の報告をした。

政府事務官が空から視察

「事務官を飛行機で被災地へ派遣し上空から視察させた。宮城県金華山以北の沿岸の被害が大きいと判った。釜石町付近は、その状況惨憺たるもので火災も起きていた…」(帝国議会議事録より)。

被害は津波の犠牲者 2483 人、負傷者 338 人。家屋の倒壊・流出・焼失被害 4664 戸。浸水 6343 戸。船舶流出 1480 隻。岩手県の犠牲者 2076 人(83.6%)、家屋の被害 3635 戸(77.9%)と突出していた(岩手県昭和震災史)。100 年近く前の関東大震災やその 10 年後の昭和初期、政府は当日、航空機を飛ばし被害を把握した。遭難した人々にとって「見捨てられていない」という気持ちがわき、生きる力を与えるものだ。だが千葉県は…。

防災ヘリ持たない千葉県は…

⑥ 今回の 15 号台風で防災ヘリを所有しない千葉県は、ヘリ 3 機保有の県警、防災ヘリ 2 機保有の千葉市に出動を要請したのは 10 日後の 9/19 日だった(前頁図 F 参照)。県警は同日、千葉市は翌 20 日に要請に応え、上空からの被害状況を撮影、県に提供した(毎日新聞 9/28 日)という。大正・昭和初期と比べようもない思考欠如の劣化を感じた。私が 9 月 20 日頃、全国航空消防防災協議会のHPで、都道府県の防災ヘリの配置を閲覧すると、千葉県は所有せず千葉市消防局が 2 機所有していた。そこで市消防局へ☎をし、ヘリの活動状況を尋ねた。すると「市の防災ヘリは、要請が無ければ飛行出来ない決まりです。これまで 10 件ほど市民のけがや他市の要請で飛行しました。県からの要請は今週になって、土砂崩れやブルーシートの屋根など撮影して欲しいと…。ヘリを持つ我々は自由に活動できればと 常々思っています」。県警は?と質問すると「3 機あります」という返事。県警へ☎をすると「9 日の午前、風が治まりかけると独自に飛び立ちました」。災害対策本部に☎をつないでくれたが「忙しいらしい…」とのこと。何も出来ない東京の浪人者として、迷惑をかけたくない思いから「有難う」と☎を切った。森田県政はバラバラらしい。

⑦ 1995/1/17 日早朝に起きた阪神・淡路大震災。明るくなった午前7時ころ、自衛隊は独自に偵察機を八尾飛行場から飛ばした。上空からビデオで撮影し、総監部に届けた。解像度が落ちる家庭用ビデオだった



1階が足払いされたが屋根は残った。自衛隊航空ビデオでは街は無事に見えたという (95/1/21撮影)

航空撮影の落とし穴を教訓に

ため、ちゃんと屋根が残って無事に見え、ひどい被害と思わなかった。中部方面総監部は、伊丹の第 3 師団(7000 人・支援部隊などを差し引くと実働≒3000 人)だけで足りると判断。当日神戸入りしたのは 400~500 人。だが、実際は上の図 G(95/1/21 日筆者撮影)のように 1 階は地震で足払いを喰らっていた。実態を把握した総監部は全部隊投入を決めたが現地入りは 3 日目だった。(東日本大震災 2 か月後の 2011/5/13 日、神戸在住の五百旗頭誠防衛大学長の講演より)

⑧ 五百旗頭氏の講演後、筆者は防衛省陸上総監部に自衛隊の対応を☎取材した。「自衛隊は以前から即応部隊があったが、阪神大震災の教訓から(初動対応部隊)と改め、全国の駐屯地≒160 か所に原則 1 小隊(30 名)を災害などに 24 時間対応できるよう待機させ、装備を乗せた専用車両を用意している」と。自衛隊は阪神大震災の教訓を生かし、東日本大震災で 10 万人の出動を果たした。(次号に続く)

3Pal<1> 私事ですが…この夏、私の“友達”が増えました。左目緑内障・脊柱管狭窄症に加え 9/12 日、都立大塚病院で 1 型糖尿病の宣告を受けました。台風 15 号が千葉県に甚大な被害をもたらした直後から 3Pal=3 病息災の生活を始めた。きっかけは体重が激減、近くの家庭医の診察を受け 1 型糖尿病の疑いを指摘された結果です。入院を勧められましたが、家から歩いて 20 分、自転車なら 10 分。さらに自由気ままな生活が奪われるストレスを恐れ通院・自宅療法を希望しました。担当医は私の希望を了承、看護師と共にインスリン注射の方法、9/26 日から自宅での簡易血糖値検査法などを指導してくれました。台風 15 号が大暴れた時、食事制限や運動療法など 3Pal との新たな生活に追われ 91 号の執筆を中断。その後襲来の台風 19 号の被害を含め、次回 92 号も「台風の置き手紙」として送信する予定です。同時に「3Pal」との生活も伝えます。 H・N 生